

公益財団法人図書館振興財団

第16回 子どもの本 この1年を振り返って 2015年 ブックリスト

■ヤングアダルトの部■

葛飾区立中央図書館 井上 直子

■YA向けの物語が例年になく充実！

■戦後70年

■きっかけ本として！コミック化されている職業本・理科系の本

■ライトノベル・2015年に創刊された新しいレーベル

■YAが政治に興味を持つチャンス！18歳からの選挙権

■今年イチオシの本

★	『あまねく神竜住まう国』/荻原規子・作/徳間書店/2015. 2/¥1600/(913. 6)
★	『うたうとは小さいのちひろいあげ』/村上しいこ・著/講談社/2015. 5/¥1500/(913. 6)
★	『おいぼれミック』/バリ・ライ・著, 岡本さゆり・訳/あすなろ書房/2015. 9/¥1200/(933. 7)

■「生きる」という事を考える

★	『いのちのパレード』/八束澄子・著/講談社/2015. 4/¥1300/(913. 6)
★	『時穴みみか』/藤野千夜・著/講談社/2015. 2/¥1500/(913. 6)
★	『赤の他人だったら、どんなによかったか。』/吉野万理子・著/講談社/2015. 6/¥1400/(913. 6)
	『いじめレジスタンス』/黒野伸一・作/理論社/2015. 9/¥1400/(913. 6)
	『白をつなぐ』/まはら三桃・著/小学館/2015. 10/¥1400/(913. 6)
★	『コービーの海』(鈴木出版の海外児童文学)/ベン・マイケルセン・作, 代田亜香子・訳/鈴木出版/2015. 6/¥1600/(933. 7)
	『いのちはどう生まれ、育つのか 医療、福祉、文化と子ども』(岩波ジュニア新書)/道信良子・編著/岩波書店/2015. 3/¥800/(493. 9)
	『明日をつくる十歳のきみへ 一〇三歳のわたしから』/日野原重明・著/富山房インターナショナル/2015. 4/¥1100/(159. 5)
	『生き延びるための作文教室』(14歳の世渡り術)/石原千秋・著/河出書房新社/2015. 7/¥1300/(816)
	『医者をめざす君へ 心臓に障害をもつ中学生からのメッセージ』/山田倫太郎・著/東洋経済新報社/2015. 10/¥900/(490. 145)
★	『LGBTQを知っていますか? “みんなと違う”は“ヘン”じゃない』/日高庸晴・監著, 星野慎二ほか・著/少年写真新聞社/2015. 12/¥1400/(367. 9)
	『こだわりからぬけられないの OCD(強迫性障害)』(わかって私のハンディキャップ)/アマタ・ジャッシー・著, 上田勢子・訳/大月書店/2015. 11/¥1500/(493. 74)
	『チックはわざとじゃないんだ トウレット症候群』(わかって私のハンディキャップ)/マル・レスター・著, 上田勢子・訳/大月書店/2015. 11/¥1500/(493. 74)
	『もっと知りたい! 話したい! セクシュアルマイノリティ ありのままのきみがいい セクシュアルマイノリティについて』/日高庸晴・著/汐文社/2015. 12/¥2400/(367. 9)

■世界の状況に目を向けるきっかけとなる本

★	『ドコカ行き難民ボート。』/シモン・ストラングエル・著, 枇谷玲子・訳/汐文社/2015. 3/¥1600/(949. 63)
★	『アルカーディのゴール』/ユージン・イェルチン・作・絵, 若林千鶴・訳/岩波書店/2015. 2/¥1700/(933. 7)
	『世界を平和にするためのささやかな提案』(14歳の世渡り術)/池澤春菜・著/河出書房新社/2015. 5/¥1200/(319. 8)
★	『14歳からの戦争のリアル』(14歳の世渡り術)/雨宮処凛・著/河出書房新社/2015. 7/¥1300/(319. 8)

■伝えていきたい戦争の物語

★	『13歳の少女が見た沖縄戦 学徒出陣、生き残りの私が語る真実』/安田未知子・著/WAVE出版/2015. 6/¥1300/(916)
	『いしぶみ 広島二中一年生全滅の記録』/広島テレビ放送・編/ポプラ社/2015. 7/¥1300/(210. 75)
	『おじいさんおばあさんの子どもの頃日本は戦争をした 戦争で私たちの命と暮らしがどうなったかをお話します』/中村攻・編, 宮城喜代美・編, 石澤憲三・編/而立書房/2015. 9/¥1000/(210. 75)
	『君たちには話そう かくされた戦争の歴史』/いしいゆみ・著/くもん出版/2015. 7/¥1400/(395)
	『戦争しない国が好き！ 女子学院中学生が綴った日本の戦争22話』/おのだめりこ・編著/高文研/2015. 7/¥1400/(210. 75)
	『ぼくが5歳の子ども兵士だったとき 内戦のコンゴで』/ジェシカ・ディー・ハンフリーズ・作, ミシェル・チクワニネ・作, クローディア・ダビラ・絵, 渋谷弘子・訳/汐文社/2015. 7/¥1800/(E)
	『本当の戦争の話をしよう 世界の「対立」を仕切る』/伊勢崎賢治・著/朝日出版社/¥1700/2015. 1/(319. 8)
★	『月にハミング』/マイケル・モーパーゴ・作, 杉田七重・訳/小学館/2015. 8/¥1600/(933. 7)
★	『リフカの旅』/カレン・ヘス・作, 伊藤比呂美・訳, 西更・訳/理論社/2015. 3/¥1400/(933. 7)

■学校が舞台！

★	『ABC！ 曙第二中学校放送部』/市川朔久子・著/講談社/2015. 1/¥1500/(913. 6)
	『おなやみ相談部』/みうらかれん・著/講談社/2015. 8/¥1300/(913. 6)
★	『グッドジョブガールズ』(teens' best selections)/草野たき・著/ポプラ社/2015. 8/¥1400/(913. 6)
★	『天と地の方程式 1～2』/富安陽子・著/講談社/2015. 8~/1～2共に¥1400/(913. 6)

	『放課後の厨房男子 男子校包丁部』/秋川滝美・著/幻冬舎/2015. 7/¥1300/(913. 6)
	『ホケツ!』/小野寺史宜・著/祥伝社/2015. 2/¥1480/(913. 6)
★	『レッドスワンの絶命』(The REDSWAN Saga)/綾崎隼・著/KADOKAWA/2015. 3/¥1200/(913. 6)
	『レッドスワンの星冠』(The REDSWAN Saga)/綾崎隼・著/KADOKAWA/2015. 7/¥1200/(913. 6)
	『おとめの流儀。』/小嶋陽太郎・著/ポプラ社/2015. 11/¥1500/(913. 6)
★	『屋上のウインドノーツ』/額賀滯・著/文藝春秋/2015. 6/¥1200/(913. 6)
	『さくらの季節』(teens' best selections)/蒼沼洋人・著/ポプラ社/2015. 3/¥1400/(913. 6)
	『ヒトリコ』/額賀滯・著/小学館/2015. 6/¥1200/(913. 6)

■ファンタジー

	『失われたものたちの本』/ジョン・コナリー・著, 田内志文・訳/東京創元社/2015. 9/¥2200/(933. 7)
★	『歌う樹の星』(TEENS' ENTERTAINMENT)/風野潮・作/ポプラ社/2015. 1/¥1400/(913. 6)
	『踊る光』/トンケ・ドラフト・作, 西村由美・訳/岩波書店/2015. 1/¥1600/(949. 33)
★	『神々と戦士たち 1 青銅の短剣』/ミシェル・ペイヴァー・著, 中谷友紀子・訳/あすなろ書房/2015. 6/¥1900/(933. 7)
	『神々と戦士たち 2 再会の島で』/ミシェル・ペイヴァー・著, 中谷友紀子・訳/あすなろ書房/2015. 10/¥1900/(933. 7)
	『鏡の世界 石の肉体』/コルネーリア・フンケ・著, 浅見昇吾・訳/WAVE出版/2015. 9/¥2200/(943. 7)
	『猫の惑星 PLANET OF THE CATS』/梶尾真治・著/PHP研究所/2015. 10/¥1500/(913. 6)

■自分を知るきっかけになる本

★	『風のヒルクライム ぼくらの自転車ロードレース』(物語の王国)/加部鈴子・作/岩崎書店/2015. 5/¥1300/(913. 6)
★	『思春期』/小手鞠るい・著/講談社/2015. 3/¥1400/(913. 6)
★	『空色バウムクーヘン』/吉野万理子・著/徳間書店/2015. 4/¥1650/(913. 6)
	『Eggs 夏のトライアングル』(TEENS' ENTERTAINMENT)/小瀬木麻美・作/ポプラ社/2015. 7/¥1400/(913. 6)

★	『なりたて中学生 初級編』/ひこ・田中・著/講談社/2015. 1/¥1400/(913. 6)
★	『なりたて中学生 中級編』/ひこ・田中・著/講談社/2015. 11/¥1500/(913. 6)

■機会があれば名作を

★	『十五少年漂流記』(新潮モダン・クラシックス)/ジュール・ヴェルヌ・著, 椎名誠・訳, 渡辺葉・訳/新潮社/2015. 8/¥1800/(953. 6)
★	『ピーター・パンとウェンディ』(新潮文庫)/ジェームズ・M.バリー・著, 大久保寛・訳/新潮社/2015. 5/¥550/(933. 7)
	『マッチ売りの少女/人魚姫 アンデルセン傑作集』(新潮文庫)/アンデルセン・著, 天沼春樹・訳/新潮社/2015. 8/¥630/(949. 73)
★	『雨ニモマケズ』/宮沢賢治・詩/あすなろ書房/2015. 11/¥1000/(726. 6)

■新しいシリーズ

★	『少年探偵』(みんなの少年探偵団)/小路幸也・著/ポプラ社/2015. 1/¥1500/(913. 6)
	『THE LOCK 1 ぼくたちが“世界”を変える日 仕かけられたなぞ』/P. D. バッカラリオ・作/学研プラス/2015. 12/¥980/(973)
	『THE LOCK 2 ぼくたちが“世界”を変える日 洞窟にひそむ物体』/P. D. バッカラリオ・作/学研プラス/2015. 12/¥980/(973)
★	『真田十勇士 1 参上、猿飛佐助』/小前亮・作/小峰書店/2015. 10/¥1400/(913. 6)
	『真田十勇士 2 決起、真田幸村』/小前亮・作/小峰書店/2015. 12/¥1400/(913. 6)
★	『真田十勇士 1 忍術使い』/松尾清貴・著/理論社/2015. 11/¥1300/(913. 6)
★	『ロックウッド除霊探偵局 1 上・下 霊を呼ぶペンダント 上・下』/ジョナサン・ストラウド・作, 金原瑞人・訳, 松山美保・訳/小学館/上・下共に2015. 3/上・下共に¥1400/(933. 7)
	『ロックウッド除霊探偵局 2 上・下 人骨鏡の謎 上・下』/ジョナサン・ストラウド・作, 金原瑞人・訳, 松山美保・訳/小学館/上・下共に2015. 10/上・下共に¥1400/(933. 7)
	『ハーフ・バッド ネイサン・バーンと悪の血脈 上・下』/サリー・グリーン・著, 田辺千幸・訳/早川書房/上・下共に2015. 1/上・下共に¥1500/(933. 7)
	『ぼくらの魔女戦記 1 黒ミサ城へ』(「ぼくら」シリーズ)/宗田理・作/ポプラ社/2015. 7/¥1200/(913. 6)

■その他シリーズ

	『お面屋たまよし 4 七重ノ祭』(YA! ENTERTAINMENT)/石川宏千花・著/講談社/2015. 10/ ¥950/(913. 6)
	『ここはボツコニアン 5 FINAL ためらいの迷宮』/宮部みゆき・著/集英社/2015. 9/¥1100/(913. 6)
	『GOSICK PINK』/桜庭一樹・著/KADOKAWA/2015. 11/¥1100/(913. 6)
	『死神うどんカフェ1号店 4杯目～6杯目』(YA! ENTERTAINMENT)/石川宏千花・著/講談社/2015. 3～/4～6全て¥950/(913. 6)
	『アラレン戦記 7 上 ranger's apprentice 奪還 上』/ジョン・フラナガン・作, 入江真佐子・訳/岩崎書店/2015. 7/¥1500/(933. 7)
	『オクサ・ポロック 6 最後の星』/アンヌ・プリショタ・著, サンドリーヌ・ヴォルフ・著, 児玉しおり・訳/西村書店/2015. 7/¥1300/(953. 7)
	『お任せ! 数学屋さん 3』/向井湘吾・著/ポプラ社/2015. 10/¥1500/(913. 6)
	『オリンポスの神々と7人の英雄 5 パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々 シーズン2 最後の航海』/リック・リオードン・作, 金原瑞人・訳, 小林みき・訳/ほるぷ出版/2015. 11/¥2000/(933. 7)
	『カッシアの物語 3』/アリー・コンディ・著, 高橋啓・訳, 石飛千尋・訳/プレジデント社/2015. 12/¥2100/(933. 7)
	『ガフルの勇者たち 特別編 失われた6つの物語』/キャスリン・ラスキー・著/KADOKAWA/2015. 4/¥850/(933. 7)
★	『消えた王』(カーシア国3部作)/ジェニファー・A. ニールセン・作, 橋本恵・訳/ほるぷ出版/2015. 9/ ¥1700/(933. 7)
	『サバイバーズ 3 ひとすじの光』/エリン・ハンター・作, 井上里・訳/小峰書店/2015. 6/¥1300/ (933. 7)
	『シャッターミー 2 アンラヴェルミー』/タヘラ・マフィ・著, 金原瑞人・訳, 大谷真弓・訳/潮出版社/2015. 3/¥2300/(933. 7)
	『少年弁護士セオの事件簿 5 逃亡者の目』/ジョン・グリシャム・作, 石崎洋司・訳/岩崎書店/2015. 11/¥1500/(933. 7)
	『シロガラス 4 お神楽の夜へ』/佐藤多佳子・著/偕成社/2015. 11/¥900/(913. 6)
	『タイムライダーズ 2-1 紀元前6500万年からの逆襲 1』/アレックス・スカロウ・作, 金原瑞人・訳, 樋渡正人・訳/小学館/2015. 4/¥1400/(933. 7)
	『タイムライダーズ 2-2 紀元前6500万年からの逆襲 2』/アレックス・スカロウ・作, 金原瑞人・訳, 樋渡正人・訳/小学館/2015. 4/¥1400/(933. 7)
	『タイムライダーズ 3-1 失われた暗号 1』/アレックス・スカロウ・作, 金原瑞人・訳, 樋渡正人・訳/小学館/2015. 12/¥1400/(933. 7)
	『タイムライダーズ 3-2 失われた暗号 2』/アレックス・スカロウ・作, 金原瑞人・訳, 樋渡正人・訳/小学館/2015. 12/¥1400/(933. 7)

『タラ・ダンカン 12 上・下 魂の解放 上・下』/ソフィー・オドゥワン＝マミコニアン・著/KADOKAWA/上・下共に2015. 8/上・下共に¥1400/(953. 7)
『ドラゴン・プロフェシー』/ドウガルド・A. スティール・著, こどもくらぶ・訳/今人舎/2015. 6/¥1900/(933. 7)
『2. 43 second season 清陰高校男子バレー部』/壁井ユカコ・著/集英社/2015. 6/¥1600/(913. 6)
『ニンジャスレイヤー #8 キョート殺伐都市 キョート・ヘル・オン・アース 下』/ブラッドレー・ボンド・著, フィリップ・N.モーゼズ・著, 本兌有・訳, 杉ライカ・訳/KADOKAWA/2015. 2/¥1200/(933. 7)
『ニンジャスレイヤー #1 不滅のニンジャソウル 秘密結社アマクダリ・セクト』/ブラッドレー・ボンド・著, フィリップ・N.モーゼズ・著, 本兌有・訳, 杉ライカ・訳/KADOKAWA/2015. 4/¥1200/(933. 7)
『ニンジャスレイヤー #2 不滅のニンジャソウル 死神の帰還』/ブラッドレー・ボンド・著, フィリップ・N.モーゼズ・著, 本兌有・訳, 杉ライカ・訳/KADOKAWA/2015. 8/¥1200/(933. 7)
『ニンジャスレイヤー #3 不滅のニンジャソウル キリング・フィールド・サップーケイ』/ブラッドレー・ボンド・著, フィリップ・N.モーゼズ・著, 本兌有・訳, 杉ライカ・訳/KADOKAWA/2015. 12/¥1200/(933. 7)
『走れ！T校バスケット部 10』/松崎洋・著, 松崎準・著/彩雲出版/2015. 2/¥1400/(913. 6)
『悲亡伝』(講談社ノベルス)/西尾維新・著/講談社/2015. 11/¥1300/(913. 6)
『悲録伝』(講談社ノベルス)/西尾維新・著/講談社/2015. 2/¥1300/(913. 6)
『ファオランの冒険 6 〈果てなき青み〉へ！』/キャスリン・ラスキー・著, 中村佐千江・訳/KADOKAWA/2015. 1/¥900/(933. 7)
『藤井兄妹の絶体絶命な毎日』(YA ! ENTERTAINMENT)/小林深雪・著/講談社/2015. 6/¥950/(913. 6)
『ブラック・レコニング』(最古の魔術書)/ジョン・スティーブンス・著, こだまともこ・訳/あすなろ書房/2015. 12/¥2400/(933. 7)
『ペンダーウィックの四姉妹 2 ささやかな奇跡』(Sunnyside Books)/ジーン・バーズオール・作, 代田亜香子・訳/小峰書店/2015. 8/¥1700/(933. 7)
『都会(まち)のトム&ソーヤ 12 IN THEナイト』(YA ! ENTERTAINMENT)/はやみねかおる・著/講談社/2015. 3/¥950/(913. 6)
『都会(まち)のトム&ソーヤ 13 黒須島クローズド』(YA ! ENTERTAINMENT)/はやみねかおる・著/講談社/2015. 11/¥1100/(913. 6)
『魔使いの復讐』(sogen bookland)/ジョゼフ・ディレイニー・著, 田中亜希子・訳/東京創元社/2015. 2/¥2500/(933. 7)
『闇の炎』(龍のすむ家)/クリス・ダレーシー・著, 三辺律子・訳/竹書房/2015. 8/¥1800/(933. 7)
『幽霊なんて怖くない』(BISビブリオバトル部)/山本弘・著/東京創元社/2015. 6/¥1600/(913. 6)

	『レイン 12 光の当たる場所』/吉野匠・著/アルファポリス/2015. 5/¥1100/(913. 6)
	『レイン 13 新天地へ』/吉野匠・著/アルファポリス/2015. 10/¥1100/(913. 6)
	『惑星カロン』(“ハルチカ”シリーズ)/初野晴・著/KADOKAWA/2015. 9/¥1800/(913. 6)
	『ワンダ*ラ 8 WONDLA ニューアツティカ壊滅』/トニー・ディテルリッジ・作, 飯野真由美・訳/文溪堂/2015. 1/¥900/(933. 7)
	『ワンダ*ラ 9 WONDLA エバ、ほんとうのワンダ*ラへ』/トニー・ディテルリッジ・作, 飯野真由美・訳/文溪堂/2015. 3/¥900/(933. 7)

■YA世代が大好きな怖い話

★	『くうきにんげん』(怪談えほん)/綾辻行人・作, 牧野千穂・絵/岩崎書店/2015. 9/¥1500/(E)
★	『はこ』(怪談えほん)/小野不由美・作, nakaban・絵/岩崎書店/2015. 5/¥1500/(E)
	『24の怖い話』/スーザン・プライス・作, 安藤 紀子ほか・訳/ロクリン社/2015. 1/¥1500/(933. 7)

■本を手にするきっかけに!

★	『しばしとどめん北斎羽衣』/花形みつる・著/理論社/2015. 6/¥1500/(913. 6)
★	『ストロボ・エッジ 映画ノベライズ みらい文庫版』(集英社みらい文庫)/咲坂伊緒・原作, 桑村さや香・脚本, 松田朱夏・著/集英社/2015. 2/¥640/(913. 6)
★	『映画暗殺教室』(JUMP J BOOKS)/松井優征・原作, 金沢達也・小説/集英社/2015. 3/¥650/(913. 6)
	『カカシ秘伝 氷天の雷』(JUMP J BOOKS)/岸本斉史・原著, 東山彰良・著/集英社/2015. 2/¥650/(913. 6)
	『小説ちはやふる 中学生編1』/末次由紀・原作・イラスト, 時海結以・著/講談社/2015. 2/¥1100/(913. 6)
★	『カゲロウデイズで中学英文法が面白いほどわかる本』/じん(自然の敵P)・原作, しづキャラクター・原案, わんにゃんぷーキャラクター・原案, はくり・漫画・イラスト, 大岩 秀樹・監修/KADOKAWA/2015. 8/¥1000/(835)
	『<至急>塩を止められて困っています<信玄> 日本史パロディ戦国〜江戸時代篇』/スエヒロ・著/飛鳥新社/2015. 5/¥926/(210・47)
★	『周期表 ゆかいな元素たち! 完全版』(科学キャラクター図鑑)/エイドリアン・ディンクル・文, ダン・グリーン・文, 藤田千枝・訳/玉川大学出版部/2015. 6/¥1800/(431. 11)
	『食品添加物キャラクター図鑑 気になるあの成分のホントがよくわかる!』/左巻健男・監修/日本図書センター/2015. 10/¥1500/(498. 519)

	『人体キャラクター図鑑 からだの不思議がめちゃくちゃよくわかる!』/坂井建雄・監修/日本図書センター/2015. 6/¥1500/(491. 3)
★	『ビブリオバトルハンドブック』/ビブリオバトル普及委員会・編著/子どもの未来社/2015. 4/¥1000/(019. 9)
	『枕草子』(マンガで楽しむ古典)/赤間恵都子・監修/ナツメ社/2015. 8/¥1300/(914. 3)
	『まんが古事記 愛と涙と勇気の神様ものがたり』/ふわこういちろう・著/講談社/2015. 6/¥1400/(913. 2)
	『万次郎 地球を初めてめぐった日本人』/岡崎ひでたか・作/新日本出版社/2015. 1/¥1500/(289. 1)

■まだまだ人気のライトノベル・ポカロ本

★	『人類最強の初恋』(講談社ノベルス)/西尾維新・著/講談社/2015. 4/¥900/(913. 6)
★	『掟上今日子の推薦文』/西尾維新・著/講談社/2015. 4/¥1300/(913. 6)
	『掟上今日子の挑戦状』/西尾維新・著/講談社/2015. 8/¥1250/(913. 6)
	『掟上今日子の遺言書』/西尾維新・著/講談社/2015. 10/¥1250/(913. 6)
	『掟上今日子の退職願』/西尾維新・著/講談社/2015. 12/¥1250/(913. 6)
	『Arknoah 2 ドラゴンファイア』/乙一・著/集英社/2015. 9/¥1500/(913. 6)
	『ハッピーシンセサイザ』/EasyPop・原作, 雨宮ひとみ・著, ぐずしろ・イラスト/PHP研究所/2015. 10/¥1200/(913. 6)
	『花とアリス殺人事件 the case of hana & alice』/岩井俊二・原作, 乙一・著/小学館/2015. 2/¥1400/(913. 6)
	『本好きの下剋上 第1部1 司書になるためには手段を選んでいられません 兵士の娘 1』/香月美夜・著/TOブックス/2015. 2/¥1200/(913. 6)
	『本好きの下剋上 第1部2 司書になるためには手段を選んでいられません 兵士の娘 2』/香月美夜・著/TOブックス/2015. 3/¥1200/(913. 6)
	『本好きの下剋上 第1部3 司書になるためには手段を選んでいられません 兵士の娘 3』/香月美夜・著/TOブックス/2015. 7/¥1200/(913. 6)
	『本好きの下剋上 第2部1 司書になるためには手段を選んでいられません 神殿の巫女見習い 1』/香月美夜・著/TOブックス/2015. 10/¥1200/(913. 6)
	『RPGスクール RPG SCHOOL』(講談社ノベルス)/早坂吝・著/講談社/2015. 8/¥860/(913. 6)

	『異世界でカフェを開店しました。 5～6』(レジーナブックス)/甘沢林檎・著/アルファポリス/2015. 4～5～6共に¥1200/(913. 6)
	『異世界の本屋さんへようこそ！ 3 Welcome to My Book Store in Another World！』(レジーナブックス)/安芸とわこ・著/アルファポリス/2015. 6/¥1200/(913. 6)
	『王と月 2～3 King and Moon』(レジーナブックス)/夏目みや・著/アルファポリス/2015. 5～/2～3共に¥1200/(913. 6)
	『五番目のピエロ』(悪ノ大罪)/悪ノP・著/PHP研究所/2015. 4/¥1200/(913. 6)
	『小説千本桜 3』/黒うさP・原作, WhiteFlame・原作/KADOKAWA/2015. 3/¥900/(913. 6)
	『北欧貴族と猛禽妻の雪国狩り暮らし 1～2』/江本マシメサ・著/宝島社/2015. 8～/1～2共に¥1200/(913. 6)
	『魔法書を作る人 3 学園編 2』(GC NOVELS)/いくさや・著/マイクロマガジン社/2015. 5/¥1000/(913. 6)
	『魔法書を作る人 4 学園編 3』(GC NOVELS)/いくさや・著/マイクロマガジン社/2015. 10/¥1000/(913. 6)
★	『ログ・ホライズン 9 LOG HORIZON カナミ、ゴー！ イースト！』/橙乃ままれ・著/KADOKAWA/2015. 4/¥1000/(913. 6)
	『ログ・ホライズン 10 LOG HORIZON ノウアスフィアの開墾』/橙乃ままれ・著/KADOKAWA/2015. 10/¥1000/(913. 6)
	『ログ・ホライズン 外伝 櫛八玉、がんばる！ LOG HORIZON』/山本ヤマネ・著/KADOKAWA/2015. 10/¥1000/(913. 6)

■ブックガイド

★	『今すぐ読みたい！ 10代のためのYAブックガイド150！』/金原瑞人・監修/ポプラ社/2015. 11/¥1800/(019. 5)
	『このWeb小説がすごい！ インターネット発の全Web小説ベストランキング！』/『このライトノベルがすごい！』編集部・編/宝島社/2015. 8/¥680/(910. 264)
	『このマンガがすごい！ 2016』/『このマンガがすごい！』編集部・編/宝島社/2015. 12/¥520/(726. 101)
	『このライトノベルがすごい！ 2016 作品&キャラクター&イラストレーター2015年度ランキングを大発表！』/『このライトノベルがすごい！』編集部・編/宝島社/2015. 12/¥500/(910. 264)
★	『THE BOOKS green 365人の本屋さんが中高生に心から推す「この一冊」』/ミシマ社・編/ミシマ社/2015. 4/¥1500/(019. 9)
	『ライトノベル・フロントライン 1 特集第1回ライトノベル・フロントライン大賞発表！』/大橋崇行・編著, 山中智省・編著/青弓社/2015. 10/¥1200/(910. 264)

■職業の本

★	『美術館で働くということ 東京都現代美術館学芸員ひみつ日記』(メディアファクトリーのコミックエッセイ)/オノユウリ・著/KADOKAWA/2015. 7/¥1000/(706. 9)
	『水族館で働くことになりました』(メディアファクトリーのコミックエッセイ)/日高トモキチ・著/KADOKAWA/2015. 4/¥1000/(480. 76)
★	『声優なれるかな? 声優お仕事コミックエッセイ』(メディアファクトリーのコミックエッセイ)/逸架ぱずる・著/KADOKAWA/2015. 7/¥1000/(771. 7)
	『小説・マンガで見つける! すてきな仕事 1 ささえる』/学研教育出版・編/学研教育出版/2015. 2/¥2000/(366. 29)
	『小説・マンガで見つける! すてきな仕事 2 まもる』/学研教育出版・編/学研教育出版/2015. 2/¥2000/(366. 29)
	『小説・マンガで見つける! すてきな仕事 3 もてなす』/学研教育出版・編/学研教育出版/2015. 2/¥2000/(366. 29)
	『小説・マンガで見つける! すてきな仕事 4 うみだす』/学研教育出版・編/学研教育出版/2015. 2/¥2000/(366. 29)
	『小説・マンガで見つける! すてきな仕事 5 つたえる』/学研教育出版・編/学研教育出版/2015. 2/¥2000/(366. 29)
	『介護福祉士になるには』(なるにはBOOKS)/渡辺裕美・編著/ペリかん社/2015. 12/¥1200/(369. 17)
	『国家公務員になるには』(なるにはBOOKS)/井上繁・編著/ペリかん社/2015. 9/¥1200/(317. 3)
	『アウトドアで働く』(なるにはBOOKS)/須藤ナオミ・著/ペリかん社/2015. 2/¥1200/(786)
	『イベントの仕事で働く』(なるにはBOOKS)/岡星竜美・著/ペリかん社/2015. 4/¥1200/(674. 53)
★	『介護福祉士の一日』(医療・福祉の仕事見る知るシリーズ)/WILLこども知育研究所・編著/保育社/2015. 3/¥2800/(369. 17)
	『救急救命士の一日』(医療・福祉の仕事見る知るシリーズ)/WILLこども知育研究所・編著/保育社/2015. 3/¥2800/(498. 14)
	『助産師の一日』(医療・福祉の仕事見る知るシリーズ)/WILLこども知育研究所・編著/保育社/2015. 3/¥2800/(498. 14)
	『工場で働く人たち しごとの現場としくみがわかる!』(しごと場見学!)/松井大助・著/ペリかん社/2015. 7/¥1900/(509)
	『カッコいいぞ! 職人本 A COMPLETE GUIDEBOOK OF SHOKUNIN』/カッコいいぞ! 職人本制作委員会・著/クロスメディア・パブリッシング/2015. 10/¥1380/(510. 95)

■その他オススメの日本の作品

	『明日の狩りの詞の』(星海社FICTIONS)/石川博品・著/星海社/2015. 5/¥1350/(913. 6)
	『彩菊あやかし算法帖』/青柳碧人・著/実業之日本社/2015. 10/¥1400/(913. 6)
	『君の臍臓をたべたい』/住野よる・著/双葉社/2015. 6/¥1400/(913. 6)
	『アラヤシキの住人たち』/本橋成一・写真と文/農山漁村文化協会/2015. 3/¥1600/(369. 5)
	『Wヒーロー W Hero HERO篇』/吉野匠・著/KADOKAWA/2015. 3/¥1000/(913. 6)
	『Wヒーロー W Hero SIN篇』/吉野匠・著/KADOKAWA/2015. 4/¥1000/(913. 6)
	『鬼塚パンチ!』/鬼塚忠・著/KADOKAWA/2015. 2/¥1500/(913. 6)
	『怪盗グリフィン対ラトウィッツ機関 Griffin Like a Cheshire Cat』/法月綸太郎・著/講談社/2015. 7/¥1500/(913. 6)
	『火星の話 The Martian Tales』/小嶋陽太郎・著/KADOKAWA/2015. 4/¥1400/(913. 6)
	『神さまのいる書店 まほろばの夏』/三萩せんや・著/KADOKAWA/2015. 7/¥1000/(913. 6)
	『川床にえくぼが三つ』/にしがきようこ・著/小学館/2015. 7/¥1400/(913. 6)
	『恐怖の緑魔帝王』(みんなの少年探偵団)/芦原すなお・著/ポプラ社/2015. 3/¥1500/(913. 6)
	『14歳の水平線』/椰月美智子・著/双葉社/2015. 7/¥1500/(913. 6)
	『小説の書きかた』/須藤靖貴・著/講談社/2015. 9/¥1300/(913. 6)
	『シンドローム SYNDROME』(ボクラノエスエフ)/佐藤哲也・著/福音館書店/2015. 1/¥1600/(913. 6)
	『透き通った風が吹いて』/あさのあつこ・著/文藝春秋/2015. 11/¥1100/(913. 6)
	『チームFについて』/あさのあつこ・著/角川春樹事務所/2015. 8/¥1400/(913. 6)
	『セント・イージス号の武勲』/上田早夕里・著/講談社/2015. 9/¥1550/(913. 6)
	『タスキメシ』/額賀滯・著/小学館/2015. 11/¥1300/(913. 6)
★	『ティーンズ・エッジ・ロックンロール』/熊谷達也・著/実業之日本社/2015. 6/¥1700/(913. 6)
	『チポロ』/菅野雪虫・著/講談社/2015. 11/¥1400/(913. 6)
	『白球ガールズ BASEBALL GIRLS』/赤澤竜也・著/KADOKAWA/2015. 3/¥1300/(913. 6)

★	『ぱらっぱフーガ』/竹内真・著/双葉社/2015. 3/¥1600/(913. 6)
	『ハルと歩いた』/西田俊也・作/徳間書店/2015. 12/¥1500/(913. 6)
	『秘密』(YA! ENTERTAINMENT)/小林深雪・著/講談社/2015. 8/¥950/(913. 68)
	『約束』(YA! ENTERTAINMENT)/小林深雪・著/講談社/2015. 11/¥950/(913. 68)
★	『武士道ジェネレーション』/菅田哲也・著/文藝春秋/2015. 7/¥1500/(913. 6)
	『プラネット・オルゴール』/小沢章友・著/講談社/2015. 2/¥1300/(913. 6)
	『降矢木すびかと魔の洋館事件』(YA! ENTERTAINMENT)/芦辺拓・著/講談社/2015. 10/¥950/(913. 6)
	『煩惱の子』/大道珠貴・著/双葉社/2015. 5/¥1300/(913. 6)
★	『美雨13歳のしあわせレシピ』(teens' best selections)/しめのゆき・著/ポプラ社/2015. 6/¥1400/(913. 6)
	『宮沢賢治「旭川。」より』/宮沢賢治・原作/BL出版/2015. 2/¥1600/(726. 6)
	『みんなの秘密』/畑野智美・著/新潮社/2015. 8/¥1500/(913. 6)
	『向かい風に髪なびかせて』/河合二湖・著/講談社/2015. 3/¥1450/(913. 6)
	『虫愛づる姫もどき』/おのりえん・作/理論社/2015. 1/¥1500/(913. 6)
	『睦月童(わらし)』/西條奈加・著/PHP研究所/2015. 3/¥1400/(913. 6)
	『森は知っている』/吉田修一・著/幻冬舎/2015. 4/¥1500/(913. 6)
	『リクと白の王国』/田口ランディ・著/キノブックス/2015. 10/¥1500/(913. 6)
	『私は存在が空気 Nobody Notices Me』/中田永一・著/祥伝社/2015. 12/¥1500/(913. 6)
	『くちびるに歌を』(小学館ジュニア文庫)/中田永一・原作/小学館/2015. 2/¥700/(913. 6)

■その他おすすめの外国の物語

★	『仮面の街』/ウィリアム・アレグザンダー・著, 斎藤倫子・訳/東京創元社/2015. 4/¥1900/(933. 7)
	『影なき者の歌』/ウィリアム・アレグザンダー・著, 斎藤倫子・訳/東京創元社/2015. 7/¥1700/(933. 7)
★	『コミック密売人』(STAMP BOOKS)/ピエルドメニコ・バッカラリオ・作, 杉本あり・訳/岩波書店/2015. 2/¥1700/(973)

	『走れ、風のように』/マイケル・モーパーゴ・著, 佐藤見果夢・訳/評論社/2015. 9/¥1200/(933. 7)
	『だれにも話さなかった祖父のこと』/マイケル・モーパーゴ・文, 片岡しのぶ・訳/あすなろ書房/2015. 2 /¥1400/(933. 7)
	『ダース・ペーパーの逆襲』(オリガミ・ヨーダの事件簿)/トム・アングルバーガー・作, 相良倫子・訳/徳間書店/2015. 6/¥1500/(933. 7)
	『オリガミ・チューバッカの占いのナゾ』(オリガミ・ヨーダの事件簿)/トム・アングルバーガー・作, 相良倫子・訳/徳間書店/2015. 10/¥1500/(933. 7)
	『木を植えた男』(あすなろセレクション)/ジャン・ジオノ・著, 寺岡襄・訳/あすなろ書房/2015. 10/¥1000/(953. 7)
	『ジェーンとキツネとわたし』/イザベル・アルスノー・絵, ファニー・ブリット・文, 河野万里子・訳/西村書店/2015. 6/¥2200/(E)
	『スモーキー山脈からの手紙』/バーバラ・オコーナー・作, こだまともこ・訳/評論社/2015. 6/¥1500/(933. 7)
	『マザーランドの月』(SUPER! YA)/サリー・ガードナー・著, 三辺律子・訳/小学館/2015. 5/¥1500/(933. 7)
	『まだなにかある 上・下』/パトリック・ネス・著, 三辺律子・訳/辰巳出版/上・下共に2015. 6/上・下共に¥1700/(933. 7)
★	『ワンダー』/R. J. パラシオ・作, 中井はるの・訳/ほるぷ出版/2015. 7/¥1500/(933. 7)

■実用書

	『泡のざわめき』(ワンダー・ラボラトリ)/田中幸・著/太郎次郎社エディタス/2015. 8/¥1500/(423. 86)
★	『安藤百福 即席めんて食に革命をもたらした発明家』(ちくま評伝シリーズ〈ポルトレ〉)/筑摩書房編集部・著/筑摩書房/2015. 1/¥1200/(289. 1)
	『インカの世界を知る』(岩波ジュニア新書)/木村秀雄・著/岩波書店/2015. 11/¥960/(268. 04)
	『上野公園へ行こう 歴史&アート探検』(岩波ジュニア新書)/浦井正明・著/岩波書店/2015. 7/¥960/(629. 3)
	『おいしい和食のキホン 高校生レストランまごの店』(岩波ジュニア新書)/村林新吾・著/岩波書店/2015. 3/¥1000/(596. 21)
	『大人になるっておもしろい?』(岩波ジュニア新書)/清水真砂子・著/岩波書店/2015. 4/¥840/(159. 7)
	『学校にはない教科書 岩波メソッド いま、必要な5×5の学習法』(岩波ジュニア新書)/岩波邦明・著/岩波書店/2015. 10/¥840/(159. 7)
	『ご当地電力ははじめました!』(岩波ジュニア新書)/高橋真樹・著/岩波書店/2015. 1/¥840/(501. 6)

	『伝えるための教科書』(岩波ジュニア新書)/川井龍介・著/岩波書店/2015. 1/¥840/(816)
	『ファッション・ライフの楽しみ方』(岩波ジュニア新書)/高村是州・著/岩波書店/2015. 4/¥860/(589. 2)
	『森と山と川でたどるドイツ史』(岩波ジュニア新書)/池上俊一・著/岩波書店/2015. 11/¥880/(234)
	『イルカの不思議 2時間で生まれかわる皮膚？アゴが耳？驚きの能力に迫る！』/村山司・著/誠文堂新光社/2015. 1/¥1500/(489. 6)
	『カタツムリの謎 日本になんと800種！コンクリートをかじって栄養補給！？』/野島智司・著/誠文堂新光社/2015. 6/¥1500/(484. 6)
	『カブトガニの謎 2億年前から形を変えず生き続けたわけ』/惣路 紀通著/誠文堂新光社/2015. 7/¥1500/(485. 6)
★	『ツバメの謎 ツバメの繁殖行動は進化する！？』/北村亘・著/誠文堂新光社/2015. 2/¥1500/(488. 99)
	『ミミズの謎 暗闇で光るミミズがいるって本当！？』/柴田康平・著/誠文堂新光社/2015. 11/¥1500/(483. 93)
	『イチから学ぼうデンキのキホン』/日本テクノ株式会社・編/丸善プラネット/2015. 4/¥1000/(540)
	『宇宙の法則 解けない暗号』(ホーキング博士のスペース・アドベンチャー)/ルーシー・ホーキング・作/岩崎書店/2015. 11/¥1900/(933. 7)
	『海の訓練ワークブック 海の仕組み/手旗信号/カッター・カヌー/水泳/航海知識/ロープワーク/船図鑑』/日本海洋少年団連盟・監修/成山堂書店/2015. 3/¥1600/(557)
	『宇宙はどのように誕生・進化したのか 宇宙138億年をワープしてみよう 図解+写真でばっちりわかる』(まなびのずかん)/新海裕美子・著, 矢沢潔・著, 佐藤勝彦・監修/技術評論社/2015. 12/¥2380/(443. 9)
	『おとなになるってどんなこと？』(ちくまプリマー新書)/吉本ばなな・著/筑摩書房/2015. 7/¥680/(914. 6)
	『勝てる！強くなる！強豪校の部活練習メニュー サッカー』/松下義生・監修/金の星社/2015. 2/¥2800/(783. 47)
	『勝てる！強くなる！強豪校の部活練習メニュー バレーボール』/清水直樹・監修/金の星社/2015. 3/¥2800/(783. 2)
	『勝てる！強くなる！強豪校の部活練習メニュー バasketボール』/高瀬俊也・監修/金の星社/2015. 3/¥2800/(783. 1)
	『勝てる！強くなる！強豪校の部活練習メニュー ソフトテニス』/高橋茂・監修/金の星社/2015. 3/¥2800/(783. 5)
	『勝てる！強くなる！強豪校の部活練習メニュー 野球』/寺崎裕紀・監修/金の星社/2015. 3/¥2800/(783. 7)
	『考える教室』/酒井邦嘉・著/実業之日本社/2015. 4/¥1200/(141. 5)
	『聞く力、話す力 インタビュー術入門』(14歳の世渡り術)/松原耕二・著/河出書房新社/2015. 11/¥1300/(809. 5)

	『奇人・変人・大天才 19世紀・20世紀 ダーウィン、メンデル、パスツール、キュリー、アインシュタイン、その一生と研究』/マイク・ゴールドスミス・著, 小川みなみ・編訳/偕成社/2015. 3/¥1400/(402. 8)
	『奇人・変人・大天才 紀元前から19世紀 アリストテレス、ガリレオ、ニュートン、ファラデー、その一生と研究』/マイク・ゴールドスミス・著, 小川みなみ・編訳/偕成社/2015. 3/¥1400/(402. 8)
	『希望のダンス エイズで親をなくしたウガンダの子どもたち 子どもたちのまなざし写真絵本』/渋谷敦志・写真・文/学研教育出版/2015. 6/¥1500/(369. 44)
	『君に伝えたいこと 15歳の人生レッスン』/姜尚中・著/自由国民社/2015. 12/¥1000/(159. 7)
	『教科書では教えてくれない日本文学のススメ』(楽しく学べる学研コミックエッセイ)/関根尚・著/学研教育出版/2015. 3/¥1000/(910. 26)
	『現代落語おもしろ七席』/齊藤洋・作/理論社/2015. 10/¥1400/(913. 7)
	『原爆を盗め! 史上最も恐ろしい爆弾はこうしてつくられた』/スティーヴ・シャンキン・著, 梶山あゆみ・訳/紀伊國屋書店/2015. 3/¥1900/(559. 7)
	『高校生にも読んでほしい安全保障の授業』/佐藤正久・著/ワニブックス/2015. 8/¥1296/(392. 1076)
	『こころめがねで見てみよう 自分っていったい何?』/加藤史子・著/主婦の友インフォス情報社/2015. 9/¥1000/(159. 5)
	『古生物の飼い方』(「もしも?」の図鑑)/土屋健・著/実業之日本社/2015. 11/¥1000/(457. 8)
★	『古代エジプト』(てのひら博物館)/和田浩一郎・日本語版監修, 川村まゆみ・訳/東京美術/2015. 8/¥1600/(242. 03)
★	『古代ローマ』(てのひら博物館)/樋脇博敏・日本語版監修, 五十嵐友子・訳/東京美術/2015. 8/¥1600/(232)
	『ごみを拾う犬もも子』/中野英明・作/ハート出版/2015. 12/¥1400/(645. 6)
★	『塩 地球からの贈り物 THE WORLD of SALT』/片平孝・著/PHP研究所/2015. 12/¥4600/(669)
	『10代からの心理学図鑑』/マーカス・ウィークス・著, 渡辺滋人・訳/三省堂/2015. 9/¥2200/(140)
	『10代からの哲学図鑑』/マーカス・ウィークス・著, 日暮雅通・訳/三省堂/2015. 11/¥2200/(100)
	『10代のための座右の銘 今を変える未来を変える』/大泉書店編集部・編/大泉書店/2015. 9/¥1300/(159. 8)
	『17歳に贈る人生哲学』/葉祥明・著/PHP研究所/2015. 5/¥1000/(159. 7)
	『18歳の著作権入門』(ちくまプリマー新書)/福井健策・著/筑摩書房/2015. 1/¥820/(021. 2)

	『春夏秋冬 自然とつきあう!』(日本文化キャラクター図鑑)/村中李衣・文/玉川大学出版部/2015. 4 / ¥1400/(404)
	『すごい古代生物 ようこそ、奇跡の「もしも動物園」へ』/川崎悟司・著/キノブックス/2015. 12/¥1500/(457. 8)
	『世界一ときめく質問、宇宙一やさしい答え 世界の第一人者は子どもの質問にこう答える』/ジェンマ・エルウィン・ハリス・編, 西田美緒子・訳/河出書房新社/2015. 11/¥2500/(033)
	『セルマの行進 リンダ十四歳投票権を求めた戦い』/リンダ・ブラックモン・ロワリー・原作, エルズペス・リーコック・原作, スーザン・バックリー・原作, PJローラン・絵, 渋谷弘子・訳/汐文社/2015. 7/¥1600/(316. 853)
★	『声に出して読みたい小中学生にもわかる日本国憲法』/齋藤孝・著/岩崎書店/2015. 8/¥1100/(323. 14)
★	『選挙ってなんだろう!? 18歳からの政治学入門 What is the election』/高村正彦・著, 島田晴香・著/PHP研究所/2015. 12/¥1000/(310. 4)
	『わたしたちのくらしと日本国憲法 1 平和な国をつくる<平和主義・統治機構>』/市村均・文/岩崎書店/2015. 11/¥3300/(323. 14)
	『わたしたちのくらしと日本国憲法 2 自由な国をつくる<立憲主義・自由権>』/市村均・文/岩崎書店/2015. 11/¥3300/(323. 14)
	『わたしたちのくらしと日本国憲法 3 平等な国をつくる<社会権・参政権>』/市村均・文/岩崎書店/2015. 11/¥3300/(323. 14)
	『はじめて学ぶ憲法教室 第3巻 人間らしく生きるために』/菅間正道・著/新日本出版社/2015. 2/ ¥2500/(323. 14)
	『はじめて学ぶ憲法教室 第4巻 憲法9条と沖縄』/菅間正道・著/新日本出版社/2015. 2/ ¥2500/(323. 14)
	『ダーシェンカ 愛蔵版』/カレル・チャペック・著, 伴田良輔・訳/青土社/2015. 12/¥1400/(645. 6)
★	『夏目漱石、読んじゃえば?』(14歳の世渡り術)/奥泉光・著/河出書房新社/2015. 4/¥1300/(910. 268)
★	『似ている英語』/おかべたかし・文/東京書籍/2015. 6/¥1300/(834)
	『目でみる漢字』/おかべたかし・文/東京書籍/2015. 9/¥1300/(821. 2)
	『発見!? 宇宙生物』/北村雄一・著/汐文社/2015. 11/¥1400/(440)
	『藤井旭の天文年鑑 2016年版 スターウォッチング完全ガイド』/藤井旭・著/誠文堂新光社/2015. 12/¥700/(440. 59)
	『へんてこりんな植物』/パイインターナショナル/2015. 8/¥1600/(470)
	『ぼくは科学の力で世界を変えることに決めた』/ジャック・アンドレイカ・著, マシュー・リシアック・著, 中里京子・訳/講談社/2015. 11/¥1600/(289. 3)
★	『本当に怖いスマホの話 次はキミの番かもしれない…』/遠藤美季・監修/金の星社/2015. 3/¥1100/(694. 6)

	『本屋さんで探す「明日のカルタ」 ことば絵本』/倉本美津留・作/主婦の友社/2015. 7/¥1300/(159. 8)
★	『本屋って何?』/稲葉茂勝・文/ミネルヴァ書房/2015. 9/¥1800/(024)
	『摩擦のしわざ』(ワンダー・ラボラトリ)/田中幸・著/太郎次郎社エディタス/2015. 1/¥1500/(423. 5)
	『マンガキャラの着こなし図鑑 男子編』(KOSAIDOマンガ工房)/アミューズメントメディア総合学院・監修/廣済堂出版/2015. 8/¥1200/(726. 107)
	『身近な危険生物対応マニュアル Common animals are sometimes dangerous!』(「もしも?」の図鑑)/今泉忠明・監修・著/実業之日本社/2015. 5/¥1000/(481. 9)
	『未来の奇妙な動物大図鑑』/川崎悟司・著/宝島社/2015. 2/¥1380/(480. 4)
	『むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ 学ぶ 人間のいるところはどこでも教室である。』/むのたけじ・著/汐文社/2015. 4/¥1500/(159. 5)
	『むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ 平和 戦争は母親と子どもをもっとも苦しめて悲しませる。』/むのたけじ・著/汐文社/2015. 7/¥1500/(159. 5)
	『むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ 生きる やさしい心こそ人の世でいちばんつよい力。』/むのたけじ・著/汐文社/2015. 9/¥1500/(159. 5)
	『むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ 育つ こども時代は、一生の根っこが育つ大切な時期だ。』/むのたけじ・著/汐文社/2015. 10/¥1500/(159. 5)
	『むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ 人類 あなたはこの地球にあなたきり。わたしはこの地球にわたしきり…』/むのたけじ・著/汐文社/2015. 11/¥1500/(159. 5)
	『もしもあの動物と暮らしたら! ?』/小菅正夫・著/新星出版社/2015. 8/¥1300/(480. 76)
	『ももとじん 小さな甲斐犬と耳の聴こえない雑種犬』/むらかみかづを・著/メタモル出版/2015. 9/¥1300/(645. 6)
	『よくわかる元素キャラ図鑑 地球の材料を知ろう!』/左巻健男・監修/宝島社/2015. 10/¥1400/(431. 11)
	『よのなかを変える技術 14歳からのソーシャルデザイン入門』(14歳の世渡り術)/今一生・著/河出書房新社/2015. 4/¥1300/(360)
★	『若田光一の絶景宇宙写真とソラからの便り』/KOICHI WAKATA・ツイートアンドメッセージ, JAXA・写真出典, NASA・写真出典/エクスナレッジ/2015. 4/¥1500/(450)
★	『わくわく大相撲ガイド 寄り切り編 ハッキョイ! せきトリくん』/日本相撲協会・監修/河出書房新社/2015. 1/¥1500/(788. 1)
	『わたしの森林研究 鳥のタネまきに注目して』/直江将司・著/さ・え・ら書房/2015. 4/¥1400/(471. 71)
	『わたしのタンポポ研究』/保谷彰彦・著/さ・え・ら書房/2015. 5/¥1400/(479. 995)

■新しい文庫のレーベル

★	『下鴨アンティーク 1 アリスと紫式部』(集英社オレンジ文庫)/白川紺子・著/集英社/2015. 1/¥550/(913. 6)
	『美少年探偵団 きみだけに光かがやく暗黒星』(講談社タイガ)/西尾維新・著/講談社/2015. 10/¥660/(913. 6)
	『高円寺かふえ純情の事情』(富士見L文庫)/石原ひな子・著/KADOKAWA/2015. 11/¥620/(913. 6)

講師： 葛飾区立中央図書館 井上 直子

みなさん、はじめまして。井上直子と申します。

私は葛飾区立中央図書館に勤務しており、YAを主に担当しています。葛飾区では、中高生を中心にサービスを展開しています。公共図書館での日々の経験を元に、同区内のYA担当者の意見も聞いたりして、どんな本がYAに人気なのか、図書館員としてどんな本を伝えていくのかなどを念頭に置きながら本を選んできました。

■YA向けの物語が例年になく充実

まずは、私が感じた2015年のYA向けの本の傾向です。2015年は、YA世代に読んでもらいたい物語が例年になく充実していました。特に日本の物語は面白い作品が多く、読んでいて楽しかったです。葛飾区では夏休み前に、中高生向けに図書のリストを作って配布していますが、このリストにどの本を載せるのか、担当者同士でも悩む程でした。

また、戦後70年という事で戦争の本も多数出版されました。日本の戦争の本より、外国が舞台の作品が充実していたという印象を受けました。日本が舞台のものは、体験記の形態が多かったように思います。

きっかけ本となるような本も多く出版されました。特に目についたのは、職業と理系の本でしたので、今回はそれらを紹介したいと思います。

そして、2016年6月19日から選挙権年齢が18歳に引き下げられることに伴い、少しずつですが選挙についての本が出版されました。選挙のしくみを体験できるような取り組みをしている学校もあるとニュースや新聞で知りました。YA世代に、政治に興味を持ってもらうチャンスですので、丁寧に本を紹介したり、展示などで特集を組むことが大切だと思いました。

これらの特徴をふまえて、2015年のヤングアダルトの本を紹介していきたいと思います。リストとして多めに本の情報を載せましたので、今回紹介する以外の本も、お役立て頂ければ幸いです。

■今年イチオシの本

まずは、冒頭からいきなり、個人的にイチオシの作品を紹介します。

YAの棚を作る時、完全に「YAだ!!」と言える本はほとんどないので、毎回本当に悩みながら選書しています。その中で、図書館員が「これは面白いよ」とうまみが詰まっている本を選んでいくことはとても大事だと思います。楽しみながらYAの棚を作っていく感覚で、私が自信をもってオススメしたい本を3冊選びました。

1冊目は、荻原規子さんの『あまねく神竜住まう国』です。勾玉シリーズの『風神秘抄』(徳間書店、2005年刊)の続編でもありますが、この1冊のみでも充分楽しめます。源頼朝がまだ強く

なる前のお話ですが、歴史の裏側をそっと覗くような、萩原さんらしい不思議も沢山詰まっている作品です。

次に、村上しいこさんの『うたうとは小さいのちひろいあげ』です。実は、この表紙とタイトルに、本を開くまでに少し時間がかかってしまいました。しかし、読み始めたらあっという間！！短歌という題材を取り上げていますが、こむずかしくなく、むしろ読んだ後チャレンジしてみたいなと思いました。この作品では人間関係もテーマとしていて、それが物語に深みを増していました。村上さんは児童向けの作品が多いのですが、こんな作品もあるのだととても感動してしまいました。

そして、『おいぼれミック』です。主人公が引っ越してきた家の隣に住むミックというおじいさんが、とても人種差別主義的で不親切。けれどもそれには理由があって…というお話です。日本ではあまり感じる事の出来ない他文化・異文化に少し触れる事ができます。ページ数はそれ程多くありませんが、面白さがぎゅっと詰まった1冊です。あっという間に読めてしまいますが、余韻がよかったです。

■「生きる」という事を考える

続いて、「生きる」ことを考えるというテーマで作品を選んでみました。

まずは『いのちのパレード』です。この作品は、葛飾区の図書館でもかなり話題になりました。まさに「いのち」がテーマの作品ですが、それ程深く掘り下げてはおらず、入門編として読むのが良いかと思いました。

『時穴みみか』は少々読み応えがあるので、読書力がある子向けかなと思います。過去にタイムスリップするお話ですが、結構シビアでドライな現実が待っていて、ドキドキして読みました。読み終わった後、自分が生きている事に感謝してしまった程です。

『赤の他人だったら、どんなによかったか。』吉野万理子さんの作品は、この後にもう1冊紹介しますが、全く雰囲気が異なるお話です。とてもインパクトのある表紙のこの本は、YA世代をとりまく現代の危険ドラッグ、ネット上でいじめなど様々な問題を題材にしています。他人だったら、そ知らぬふりをしてやりすごせるけれど、いざ自分の身にふりかかってきたら…という心の闇が上手く表現されているかと思いました。彼らを取り巻く環境に、目を向けなければと思わされた作品でした。

続いて『コービーの海』です。主人公は、片足を失ってしまった12歳の女の子コービー。家族にイライラする事が多い彼女が、ある日クジラの親子を助けます。読んでみると、海の中をずっと泳いでいるような、そんな爽快感を味わえる作品です。また、海外の小説は翻訳が大事だと常に思っていますが、代田さんによる訳は、ページ数があるにも関わらずとても読みやすかったです。

『LGBTQを知っていますか?』です。

「LGBTQ」は、「レズビアン」、「ゲイ」、「バイセクシュアル」、「トランスジェンダー」、「クエスチョニング」の頭文字を取った言葉です。悩んでいる人はもちろん、自分とは違う性のあり方について知る1冊です。表紙は少し地味ですが、この本ではカテゴリー別に時折マンガで分かりやすく解説

しています。体験談も載っているので、リアルに伝わってくる1冊です。

このように、2015年はYA世代に共感してもらえ、生き方を考えさせられる作品が例年以上に多かったです。

■世界の状況に目を向けるきっかけとなる本

戦争をテーマにした作品を紹介する前に、まずは現代の世界の状況に目を向けてみようという事で、3冊紹介します。

最初に『[ドコカ行き難民ボート。](#)』これはシリーズですが、この1冊のみでももちろん読めます。アフリカで経済に苦しんでいる人たちの様子が分かる、ノンフィクションのようなフィクションです。あまり深く掘り下げた作品ではないので、入門編かと思います。

次に『[アルカーディのゴール](#)』です。ソ連国内で起こった政策のため、差別を受けた人々のお話です。実際に現代においても、世代を越えてトラウマを抱えている方もおられるそうです。この作品に収められている挿し絵も、とても迫力があります。

そして『[14歳からの戦争のリアル](#)』。戦争に行くということはどういう事なのか、第二次世界大戦やイラク戦争の体験の方たちの話も交えて展開していきます。思わず「ふむ」と唸ってしまうような知らない事も載っていました。ブックトークなど、現代の世界で起こっているリアルな出来事を少しでもYA世代に伝えていけるよう、何かの折に紹介したい1冊です。

■伝えていきたい戦争の物語

次に戦争の本です。体験記などもここに含めました。

まずは、『[13歳の少女が見た沖縄戦](#)』です。作者の安田未知子さんが体験した沖縄の戦争がそのまま綴られています。内容は分かりやすい言葉で、語りかけられているように書かれています。防空壕、草木を食べて逃げる、兵士にだまされる。「戦争が人を狂わせてしまう」という言葉がとても印象的でした。

2冊目は『[月にハミング](#)』です。マイケル・モーパーゴさんの作品は、2015年に多く出版されましたが、その中でこの1冊を選びました。一般市民が乗った普通の観光船が、魚雷に当たってしまうという衝撃的なシーンと、戦争の悲惨さが伝わってきました。戦争の新たな一面を見たという印象でした。

『[リフカの旅](#)』は、ロシアからアメリカを目指して亡命するユダヤ人一家の話です。理不尽な運命に何とか打ち勝とうとするリフカの物語は、目が離せなくなり一気に読みました。また、アメリカのエリス島についての記述がありますが、同じ年に出版された他の戦争の物語でも、エリス島が登場する事が多いように思いました。

■学校が舞台

続いて学校が舞台の本を紹介します。学校が舞台となる作品は、2015年も本当に多かったです。YA世代が共感できる部分が多いかというところで、学校でのブックトークでも使いやすいの

ではないでしょうか。

まずは、『ABC！曙第二中学校放送部』です。表紙も手に取りやすく、何より読みやすい本でした。少し恋愛もからんできて、YA世代にも楽しんでもらえる作品です。慣れない事にチャレンジして、成長していく主人公にも共感できると思います。

『グッドジョブガールズ』も可愛い装丁で手に取りやすく、タイトルもテンポが良い本です。「さすが草野たきさん」というところでしょうか。少しドライで、お互いに馴れ合わない事を前提とした友達、「悪友」として日々を過ごしていく3人の女の子たちが主人公です。お互いを褒めず、深入りせず、わざとドライさを装い、そのように振る舞うことが傷つかずに済む方法だと思っている彼女たちが、どうなっていくか必見です。

次に富安陽子さんの『天と地の方程式 1～2』です。個人的には怖い話がとても苦手ですが、この話を学生時代に読まなくてよかったと思いました。間違いなく学校に行けなくなるな、と。怖いけれど、続きがつい気になって読んでしまうストーリーで、富安ワールドが炸裂しています。

ここまで紹介した作品は、どことなく女の子が好きかな？と思われる作品ですので、男の子にもお薦めしたいものを2冊程。

綾崎隼さんの『レッドスワンの絶命』は、私立赤羽高等学校サッカー部が舞台です。崩壊の危機を迎えていたこのサッカー部に救世主が現れた！！というところから始まる物語。サッカーのルールはもちろん、戦術まで詳しく書かれているので「そんなに上手い事いきっこないよー」と思いつつも、そのリアル感にぐいぐい引き込まれます。分かりやすい言葉で書かれているので、サッカーをよく知らない人でも楽しめます。

続いて額賀滯さんの『屋上のウインドノーツ』です。額賀さんは、2015年『タスキメシ』（小学館、2015年11月刊）、『ヒトリコ』（小学館、2015年6月刊）などの作品が出版されましたが、私は本書をイチオシしたいと思います。吹奏楽に全力を注ぐ高校生の物語。まるで自身の体験のように感じられる程、1人1人の成長がリアルに描かれていました。今回紹介した以外の作品も面白かったので、ぜひ読んでみてください。

■ファンタジー

次にファンタジーの中から2冊紹介します。

まずは『歌う樹の星』。風野さんのノリのよいタッチで、テンポよく読めます。装丁も素敵だなと思いました。未来が舞台で、人々が気軽に宇宙に行けるという時代のお話。時折、リアルな事柄が盛り込まれていて胸をチクチクとさします。ファンタジーだけれども、それだけでは収まらないお話です。

それだけでは収まらない…という繋がりです。次に紹介するのは、『神々と戦士たち 1～2』です。著者のミシェル・ペイヴァーさんは、『クロニクル千古の闇』シリーズ(評論社、2005年～)も書かれています。全5巻の予定とのことですが、少々読み応えがあるかなと思いました。今回は古代

ギリシアが舞台で、当時のエーゲ海周辺の暮らしや文化などが生き生きと描かれています。この作品にとどまらず、YA世代には、ギリシアに関する類書と共に紹介したいと感じました。とても奥行きのある作品です。

何かのきっかけになるツールとして、本は色々な可能性を持っていると思います。

■自分を知るきっかけになる本

次は「自分を知るきっかけになる本」という事で、何点か紹介したいと思います。

まずは加部鈴子さんの『風のヒルクライム』です。2015年は、オムニバス形式の作品がYAでも多かったです。オムニバスの良い所は、短い時間でも読めるし、読むのが苦手な子にもオススメしやすい。何より、脇役やチョイ役の登場人物が次の作品では主人公になっていて、様々な角度から物語を楽しめます。この『風のヒルクライム』は、ロードレースが舞台となっています。臨場感あふれていて、スピード感があるので、自分もロードレースに参加している気分になって読みました。大人も一緒に楽しめる作品です。

逆に次の小手鞠るいさんの『思春期』はカチっとした構成で、リアルに色々なことを考えさせられる作品です。ストーリーは辛く感じる部分もありますが、「読んでよかったな」という読後感のある、着地点の良い作品でした。

吉野万理子さんの『空色バウムクーヘン』。先程紹介した『赤の他人だったら〜』とは、全く雰囲気異なる作品です。何か「ものすごく王道を行った！！」と感じる作品でした。学生生活の中で、自分らしくするということが難しく感じるYA世代にとって、こんなに爽やかに、堂々と自分たちの道を行く登場人物をもしかしたら羨ましく思うかもしれません。それくらい突き抜けた作品です。

そして、ひこ・田中さんの『なりたて中学生 初級編』と『中級編』です。小学生から中学生になるだけでも大変なのに、学校が変わることになってしまっ…！？というところから始まるお話です。初級編では制服を買うシーンもあり、初々しいドキドキ感で一杯です。ひこさんならではのユーモアも満載！！この作品に言葉はいりません。読んでいない方は、ぜひ一読を。

■機会があれば名作を

ここまで、2015年に出版された新しい作品を紹介してきましたが、昔から読み継がれてきた名作も機会があれば積極的に紹介しています。今回は『十五少年漂流記』、『ピーター・パンとウェンディ』、『雨ニモマケズ』の3作品をリストに挙げました。

これらの作品は、特にYA向けという事ではないのですが、装丁が素敵だったり、読んでもらいたいと思う作品が出版された際には、紹介したり、ブックトークで使ったりしています。

■新しいシリーズ

次に2015年に新たに始まったシリーズです。という事で、最初は『少年探偵』です。『みんなの少年探偵団』（ポプラ社）は、2014年に江戸川乱歩生誕120周年を記念して刊行されたシリーズ(注1)ですので「ちょっとちょっと」と思う方もおられるかもしれませんが、「少年・芳雄

の物語はここから始まった！！」という事であえて紹介しました。小路さんの文体もテンポよく現代風に蘇っていて、新たに面白さを感じられる1冊でした。

続いて『真田十勇士 1～2』です。NHK大河ドラマの影響で、真田氏に関する本が多数出版されています。『真田十勇士』は同タイトルで、小峰書店から小前亮さん、理論社からは松尾清貴さんによる作品が刊行されました。それぞれ異なる雰囲気を持っているので、読み比べるのも面白いかもしれません。

そして『ロックウッド除霊探偵局 1～2』です。舞台は、霊の出没が頻繁になり社会問題となったロンドン。そこで活躍するのが除霊探偵とよばれる、様々な能力をもった人たちです。能力があれば、子どもからでもなれる除霊探偵。3人の除霊探偵の活躍を描いています。夜になると霊が現れるため、外出禁止令が出されたり、霊を寄せ付けない外灯「除霊灯」も登場したりして、ユーモアたっぷりの物語です。

ページ数も多すぎず、字も詰まっていないので、新しいシリーズではこれがイチオシかと思います。

■その他シリーズ

その他のシリーズということで、続刊の中から1つだけ紹介します。

『消えた王』。「カーシア国3部作」の2巻目です。今回の主人公セージは、前作『偽りの王子』（ほるぶ出版、2014年刊）より、“逃げる逃げる”のスピード感溢れるキャラクターという印象を受けました。1巻目より少々エンタメ感が勝りましたが、好きな作品の1つです。映画化の予定もあるので、公開の際は改めてYA世代にお薦めしたいと思います。

■YA世代が大好きな怖い話

YA世代が好きなジャンルの中に怖い話があります。という事で、次はその中から岩崎書店「怪談えほん」シリーズ『はこ』と『くうきにんげん』を紹介します。

「子どもたちに、もっと怖いお話を」というコンセプトで企画されたこのシリーズ。(注2)綾辻行人さんや小野不由美さんなど人気の作家さんが参加されています。とにかくひたすら怖い！！「ここまでやるか!？」という本です。

葛飾区の図書館では、これらの本に対し賛否が分かれていましたが、私自身はこのコンセプトや試みが面白いと思いました。今回紹介しなかった『24の怖い話』は王道の怖いお話なので、こちらも書架に置いておきたい1冊です。

■本を手取るきっかけに

続いて、本を手取るきっかけとして使える本です。

まずは、個人的にも大好きな『しばしとどめん北斎羽衣』。ハチャメチャなことばかりしている父親が、ある日汚いふとんにくるまれた老人を連れて帰りますが、その老人がああ「富嶽三十六景」を描いた葛飾北斎だというのです。絵を描いて一攫千金を狙う父親と、北斎の世話をする不登校中学生。あり得ない設定で話がどんどん進んでいきますが、北斎ならスカイツリーをどう描くのかなどのエピソードも飛び出してきて、だんだんと引き込まれます。ただ、北斎だけに春画のエピソードも結構出てくるので、書架に置くかは、ぜひ皆さんに読んでご判断いただきたいと思います。葛

飾北斎の事をもっと知りたくなる1冊です。

次に『ストロボ・エッジ』と『映画暗殺教室』です。やはり、メディアミックスの影響はとても大きく、こういった大人気コミックスの映画化のノベライズは呼び水として効果的です。しかし、棚に置きっぱなしにするのではなく、テーマを決めて特集を組むなど工夫が必要だと思います。こういった作品は、YA世代からのリクエストで購入する事が多いです。

また、人気ライトノベル『カゲロウデイズ』で中学の英文法が勉強できる『カゲロウデイズで中学英文法が面白いほどわかる本』も出版されました。こちらも大変人気があります。

次に、びっくりする程人気があるのが、『周期表 ゆかいな元素たち!』。おそらく、図書館員としては「積極的に蔵書として入れるのは…」と思われる方もいるかもしれません。しかし、非常に人気で必ずと言っていい程書架にはない本ですので、きっかけ本として、とても効果があると思います。こういった本は楽しいけれども、ただ置いてあるだけでは娯楽で終わってしまう可能性があるため、職員が間に立ってブックトークや特集、類書できちんとしたものを揃えるなど、色々な方法で繋いでいくことが大切だと感じました。

そして『ビブリオバトルハンドブック』。昨今、様々な所で開催されているビブリオバトル。普段出会えない本に出会えるというメリットがあります。今年に入ってコミック形態のものも出版されましたが、ビブリオバトルはいつでもどこでもできるので、ぜひこういう本と一緒に広めていきたいと思っています。

■まだまだ人気のライトノベル・ボカロ本

次に、まだまだ人気のライトノベルと「ボーカロイド」本、略して「ボカロ本」です。2015年も西尾維新さんの勢いはすごかったです。新作『人類最強の初恋』は「戯言シリーズ」(講談社)から生まれた新シリーズです。『掟上今日子』シリーズもドラマ化の影響もあり(注3)、とても人気です。

元々は、インターネットの「2ちゃんねる」で発表されていた『ログ・ホライズン』。こちらも人気です。こちらはNHK Eテレでアニメ化された影響もあるのか(注4)、小学校中学年くらいから読み始めている子もいて驚きました。

ライトノベル、ボカロ本、Web小説などは本当に幅広く出版されているので、リクエストに頼る部分が大きいです。

■ブックガイド

ブックガイドも多く出版されましたが、その中から2点程紹介します。『今すぐ読みたい! 10代のためのYAブックガイド150!』、金原瑞人さんとひこ・田中さんが監修をしています。YA担当者としてオススメしたい本ばかりで、見ていてわくわくします。ジャンルも様々で、2015年に出版された本も掲載されている最新版です。

次に『THE BOOKS green』。本当に色々なジャンルから、「心から推薦しているんだなあー」と思われる本が沢山載っています。「YA向けだから」に捉われず、心からのオススメ本が紹介され

ており、思わず「ふむ」と唸ってしまうラインナップです。

■職業の本

職業の本の中から、目についたものを何点か紹介します。

まずは、メディアファクトリーのコミックエッセイの中より2点。『美術館で働くということ』、『声優になれるかな?』。これらは、きっかけ本として使えると思われるシリーズです。

『医療・福祉の仕事見る知るシリーズ』からは、第1期が2015年から出版されました。第1期は全5巻です。

このように、職業の本にもコミックのものが出版され、きっかけとして使える本が多く刊行されたという印象でした。

■その他オススの日本の作品・外国の作品・実用書

その他オススとして特にテーマを設けず、日本の作品、外国の作品、実用書としてジャンル別に何点か紹介していきます。

最初は『ティーンズ・エッジ・ロックンロール』です。宮城県気仙沼市をモデルにした海が舞台となり展開していく物語です。大人向けですが、YAにも読んでもらいたい作品です。故郷とは何かということや、今生きるということについて考えさせられました。

『ばらっぱフーガ』はどことなく昭和の香りもしましたが、私は竹内真さんの作品が好きなので、気になりませんでした。結構読み応えがあるので、読書力のある子向けだと思います。

『武士道ジェネレーション』では、『武士道シックスティーン』(文藝春秋ほか)の早苗と香が、ついに大人になって登場です。これらの3作品は大人向けですが、YA世代と一緒に楽しめます。

そして、『美雨13歳のしあわせレシピ』。こちらは装丁が可愛く、字数もあまり多くないので気軽に手に取ってもらえるかと思いますが、ある日お母さんがいなくなってしまうという衝撃的なシーンから始まります。もしかしたら物事はこの作品ほど簡単に解決しないのかもしれないけれど、優しさがぎゅっと詰まっていて、暖かい気持ちになる物語でした。

次に外国の物語を紹介します。

まずは『仮面の街』です。一言でファンタジーと簡単に説明できない程様々な世界観が詰まっている物語です。読んでいるうちに幻想的な感覚に陥っていきますが、かなり読み応えがあるので、読書力のある子向けです。

『コミック密売人』は、「STAMP BOOKS」の中では、私は1番好きな作品です。ハンガリー独裁政権のもと、闇でアメコミを売りさばく少年のお話です。こちらも読み応えはありますが、波に乗れるとぐいぐい読める作品です。

『ワンダー』は、だいぶ話題に上がっていましたので、お読みになった方も沢山おられるのではないのでしょうか。顔に障害をもって産まれてきたオーガストが主人公で、彼を取り巻く家族や友だちの物語がオムニバス形式で展開していきます。自分とは何か、生きるとは何か、偏見とは何かを本当に色々と考えさせられました。何よりオーガストのユーモアと彼の家族の温かさが、胸に本当に沁みました。

「人って1人では生きていけないんだよなあ」と実感した1冊。YA世代にもぜひ読んでもらいたいと思う作品です。

次に実用書です。『安藤百福』。とても読みやすく書かれた1冊です。

「ちくま評伝シリーズ<ポルトレ>」というシリーズでは他にも、「スティーブ・ジョブズ」(2014年8月刊)、「マリ・キュリー」(2015年10月刊)、「やなせたかし」(2015年11月刊)などが取り上げられています。新書や文庫はYAに好まれやすい形態ですので、良いものがあれば積極的に揃えていきたいところです。

『ツバメの謎』は、様々な生きもののナゾにせまる“謎シリーズ”です。カラーのイラストも入っており、手にとりやすいです。同シリーズで『ミミズの謎』(2015年11月刊)をはじめ、何冊か刊行されています。

次に『古代エジプト』と『古代ローマ』です。こちらは「てのひら博物館」の名の通り、サイズはコンパクトですが、写真がとてもきれいに載っているのでオススメです。

写真が素晴らしいといえば、『塩 地球からの贈り物』。あまりに装丁と紹介されている写真が素敵なので、ぜひ手に取ってもらいたい1冊です。どのページを開いても写真が素晴らしく、説明にもルビが振ってあり分かりやすい文章となっています。

続いて選挙に関する本、『声に出して読みたい小中学生にもわかる日本国憲法』と『選挙ってなんだろう!?!』を紹介します。分かりやすい言葉で書いてあったり、タレントさんを起用して出版された本は、興味を持ってもらうきっかけ作りになると思います。YAでも読める、選挙や政治をテーマとした本は今まで意外と少なかったので、出版されたらマメに選書していきたいと思います。

『夏目漱石、読んじゃえば?』は「14歳の世渡り術」シリーズの1冊です。まず、タイトルが誘い文句の様でいいなと思い、思わず手に取ってしまいました。中・高では必ず夏目漱石の作品を授業で取り扱いますが、それとはまた違った視点で夏目漱石に触れることができる1冊です。

『似ている英語』。『似ていることば』(東京書籍、2014年刊)のおかべたかしさんのシリーズです。今回取り上げられているのは英語。少しは英語に親しみを持ってもらえるきっかけになるかもしれません。このシリーズは写真がいつもきれいなので、ブックトークでも使いやすいです。

『本当に怖いスマホの話』はYA世代、そして彼らを取り巻く様々な環境を理解する上で手助けとなると思われる1冊です。大人も読むことによって、このような事が起こっていると気づける事もあるのだと思いました。

秋田喜代美さん監修、稲葉茂勝さん文章の『本屋って何?』は、本の歴史から、普段は見えない仕事まで載っており、写真も多用されていて見やすいです。

『若田光一の絶景宇宙写真とソラからの便り』は、特に余計な説明はいらないかと思います。写真が素晴らしいので、ぜひ見てみてください。

そして『わくわく大相撲ガイド 寄り切り編』。こちらもシリーズで『押し出し編』などがあります。タイトルの通り、ひたすら「寄り切り」について書いてあるというのではなく、関取や親方にインタビューしたり、相撲についての見どころの解説が載っています。イラストも沢山掲載されていて見やすいので、入門編というところでしょうか。

■新しい文庫のレーベル

最後に、新しく刊行された文庫のレーベルの中から1冊だけ紹介します。集英社オレンジ文庫の『下鴨アンティーク』です。こちらのレーベルは本の装丁がきれいで、イラスト入りのものもありますが、全体的に大人っぽい雰囲気です。内容もライトノベルに比べて少々難しい文章で書かれているため「YA世代は読まないかな？」と勝手に思い込んでいましたが、職場体験に来た中学生が、何人かこの本をオススメ本として挙げてくれたので驚きました。装丁がきれいなことと、本屋さんで帯を見て惹かれたので読んだとのこと。「なるほどなー」と感心しつつ、やはり見た目は大切なのだと感じ、今回紹介しました。

以上、様々な本を紹介しましたが、「この本を探しにきたけれど、隣にあった本と一緒に借りてみたら面白かった」という棚を目指し、今後も選書していきたいと思います。

(於：株式会社図書館流通センター 2016年3月7日・8日)

注

1) ポプラ社「みんなの少年探偵団」

<https://www.poplar.co.jp/shop/shosai.php?shosekicode=80009700>

最終確認日：平成28年5月1日

2) 岩崎書店「怪談えほん」

<http://www.iwasakishoten.co.jp/special/kaidan/>

最終確認日：平成28年5月1日

3) 日本テレビ「掟上今日子の備忘録」

<http://www.ntv.co.jp/okitegami/>

最終確認日：平成28年5月1日

4) NHK アニメワールド「ログ・ホライズン」

<http://www9.nhk.or.jp/anime/loghorizon/>

最終確認日：平成28年5月1日